

平成29年度 一般会計 予算内示 事業別概要書 (当初)

款	9. 教育費	大事業	5. 考古及び民俗資料整理事業
項	5. 社会教育費	中事業	
目	2. 文化財保護費	担当所属	文化課

予算種別	補助/単独	事業区分	前年度 当初予算額	増減額	前々年度 決算額	実施計画	第4章	明日へつながるまちづくり	5年間計画額	
経常	補助	計画	0	0	6,961		基本施策5	歴史・文化資産の保全・活用	平成28年度	-
									平成29年度	-
									平成30年度	-
									平成31年度	-
						施策2	歴史文化資産を保全・活用します	平成32年度	-	

本年度事業費	(歳入)	(歳出)
本年度当初要求額	180	
本年度当初査定額	180	6,628

財源内訳	国庫支出金	県支出金				その他	一般財源
本年度当初要求額	0	0				180	△180
本年度当初査定額	150	30				0	6,448

<事業に関する説明>

<p>(事業の概要) 資料の台帳化、資料修復・保存処理、資料撮影と写真資料のデジタル化、収蔵場所の維持管理、収蔵資料の展示</p>	<p>(事業の目的) ・考古・民俗資料は、市内外の教育機関・研究者からの問合せ や貸出依頼、市内小学校の総合学習での活用例が多数あり、その要望に適切かつ迅速に対応するため資料の整理・修復を行います。 ・市内施設における資料の貸出展示等依頼にも積極的に応じます。 ・国庫補助事業関連の出土品の台帳化を進めます。 ・平井家住宅の維持管理を進め、活用を検討します。</p>	<p>(事業の効果) ・市民の財産である文化財をより良好な状態で保管し、必要に応じて活用できる状態にします。 ・学校教育・公民館等でそれらを活用することによって、市民が地域の歴史・文化に親しみやすくします。 ・佐倉市の歴史を市民、佐倉市を訪れた方にアピールでき、市への愛着、理解を深めることができます。</p>
<p>(事業実施上の問題点) 今後、終了した発掘調査の資料の移管が見込まれます。また、今後も民間事業に伴う埋蔵文化財調査が計画されています。そのため、文化財収蔵庫の収納余地に不足が生じることが予想されます。なお、収蔵庫は仮施設であり、老朽化が進んでいます。</p>	<p>(前年度からの見直し点)</p>	<p>(見積についての特記事項)</p>

節	本年度 当初査定額	前年度 当初予算額	増減額
07	4,663	4,663	0
11	608	716	△108
12	214	273	△59
13	1,038	943	95
18	105	94	11

特定財源	款	項	目	節	細節	細々節	歳入特定財源科目名称	本年度 要求額	本年度 査定額	前年度 予算額	増減額
	14	02	06	04	01	00	国宝重要文化財等(市内遺跡発掘調査)保存整備費	150	150	150	0
15	02	08	01	01	00	文化財保存事業(埋蔵文化財緊急調査)補助金	30	30	37	△7	
差引一般財源								△180	6,448	△187	6,635